

MIGSを再考する

～房水主流出路における“Safety and Efficacy”～

2024年

日時

9月20日 金

12:40～13:40

会場

第3会場 (アクリエひめじ 2F 小ホール)



座長

井上 俊洋 先生 (熊本大学)

昨今、日本では高齢化に伴い緑内障患者が増加することが予想されています。

その一方で、低侵襲緑内障手術 (Minimally Invasive Glaucoma Surgery : MIGS) が急速に普及しており、緑内障患者以外にも身近となりました。またiStentはMIGSを代表する術式として国内外で広く施行されています。

本セミナーではiStentを処方される患者さんの利益が最大化されるように、適切な症例選択・タイミング、手術の得失など有効性や安全性について、さらに早期に介入することの重要性についてMIGSの経験が豊富な演者による興味深い講演になると思っております。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



演者



小林 聡 先生
(稲村眼科クリニック)

MIGSの適応による使い分け
～クリニック編～



野本 裕貴 先生
(近畿大学)

MIGSの適応による使い分け
～大学病院編～



盛 崇太郎 先生
(神戸大学)

MIGS手術の成功を
引き出す術前ストラテジー



赤木 忠道 先生
(新潟大学)

MIGSにおける
房水主流出路の機能評価